

DECOROBOCO Base Co., Ltd



会社案内 / ソーシャルインパクト 2024

COMPANY PROFILE / SOCIAL IMPACT

凸凹が生きる社会を創る。

でこぼこ 凸凹がとびらをひらく。

DECOCO BASE co.ltd.



企業理念 Corporate Philosophy

教育と福祉で、ゆたかさを広める。

ビジョン Vision

凸凹が活きる社会を創る。

社是 Precept

明るく・楽しく・元気よくそして仲良く ~共により会社を創りましょう~

Brand's Statement

「誰もが社会の一員として自然に受け入れられ、活躍できる社会へ。」

「凸凹が活きる社会を創る。」というビジョンを掲げ、
個々の特性に応じることができる療育事業を
2014年 東京中野区の教室からはじめました。

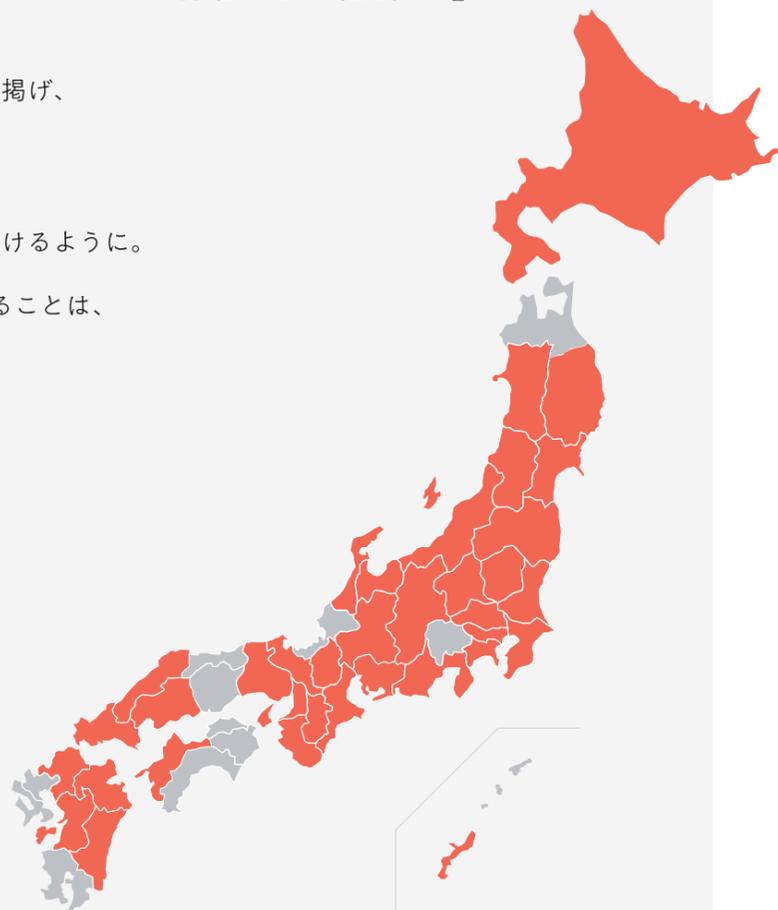
すべての人の心を守り、他者と共に成長していけるように。

持続可能な未来の実現に向けて大切にしていることは、
売上の規模や利益の最大化ではなく、
「ソーシャルインパクト」の最大化。

私たちは
「ソーシャルフランチャイズ」として、
100社以上のパートナー企業とともに
日本全国に広まっています。

あらゆる違いによって区別されることなく、
ゆたかな人生を送ることができる社会へ。

そのような社会の実現に向けて、
「ソーシャルエンタープライズ」
として挑戦を続けます。



全国カバー率

*2023年12月末時点

85%

※オレンジ = 拠点のある都道府県

CEO's Message

「ゆたかな人生を送ることができる「凸凹が活きる世界」のある未来



代表取締役会長 CEO (最高経営責任者)

上野



2001年1月 アルファグループ株式会社 代表取締役社長 JASDAQ 上場 (証券コード:3322)
2014年7月 同社福祉部門 MBO アルファディスカール株式会社 (現デコボコベース株式会社) 設立
2015年8月 ハッピーテラス株式会社 代表取締役就任
2016年より、株式会社オロ (証券コード:3938) 社外取締役
2023年4月 デコボコベース株式会社 代表取締役会長 CEO (最高経営責任者) 就任

私は日本の画一的で均一的な環境に馴染めず、高校時代に渡米しました。

アメリカは多民族国家で多様な個性が集まり、個々の特性がポジティブに評価され活かすことができる環境がありました。その時に強く感じた解放感を、今でも鮮明に覚えています。

閉鎖的といわれる島国日本ですが、私が高校生だった当時と比較すると飛躍的にグローバル化が進んできました。少子化に対応して多様性を受け入れる会社も増えてきています。

しかし、教育や福祉の分野においては未だに画一的な考え方が根強く残り、一人一人の持つ凸凹 (特性) をポジティブに受け入れる環境になるには、まだまだ改善の余地があると思っています。

この日本における障害児 (者) を取り巻く環境も同様に、今後は劇的に変わっていくと確信しています。IT技術が進歩し、AI (人工知能) やロボット技術も向上し、今までの仕事の仕方やライフスタイルを進化させる未来にこそ、凸凹の活きる、個々の特性がポジティブに受け入れられる、そんな働き方が求められる社会になるでしょう。

私たちの活動は今後国内にとどまらず世界に広がっていきます。私たちが目指すのは、肌の色、性別、性的指向、国籍、民族、文化、宗教を超えて個々の個性が活かされ、ゆたかな人生を送ることができる「凸凹が活きる世界」のある未来。私たちはこの理想の実現に向けて取り組んでいます。

会社設立当時、発達障害は「見えにくく、分かりにくい障害」とされており、特性による困りごとに対する支援や環境は整っていないとはいえませんでした。

そのような状況を、教育と福祉事業を通じて解決していきたいと考え、障害児 (者) 通所支援事業を始めました。

「より多くの困っている方に、環境を提供していきたい」の想いから、「凸凹が活きる社会を創る。」というビジョンに賛同していただいた、ソーシャルフランチャイズのパートナー企業の皆さまと、地域連携・地域活性をひとつひとつ丁寧に、これまで 228 事業所を全国に展開してまいりました。

そのような中、労働集約型である福祉業界は、多くの課題を抱えており、特に DX 化の遅れは生産性の低下や利用者の情報格差などを生み出しています。そこで、

決の一助となる「凸凹ガイド」と「凸凹システム」を開発しました。

今後さらに、当社のパートナー企業と DX 新サービスを、全国津々浦々展開し、「凸凹が活きる社会を創る。」コミュニティを広げてまいります。

CS: カスタマーサティスファクション
DX: デジタルトランスフォーメーション

COO's Message

「CS と DX で全国の福祉課題を解決していきます。」

代表取締役社長 COO (最高執行責任者)

松井 清貴



2013年4月 アルファディスカール株式会社入社
2014年8月 アルファディスカール株式会社 (現デコボコベース株式会社) 取締役就任
2015年8月 ハッピーテラス株式会社 取締役就任
2020年4月 ハッピーテラス株式会社 (現デコボコベース株式会社) 最高執行責任者 COO 就任
2023年4月 デコボコベース株式会社 代表取締役社長 COO (最高執行責任者) 就任

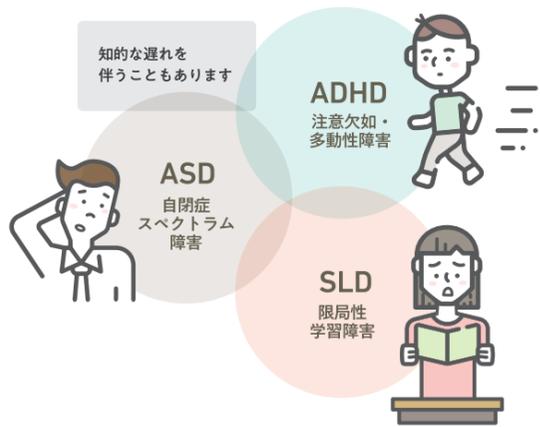


01. 発達障害に関する基礎知識

Fundamental knowledge

● ● ● 発達障害とは

近年、発達障害は「多様性の一つ」だと考えられ始めています。これからの社会では、全ての人が「ちがいを」活かし活躍できる「共生」が必要不可欠で、社会における「発達障害」の見方、受け止め方を変えていくことが必要になっています。

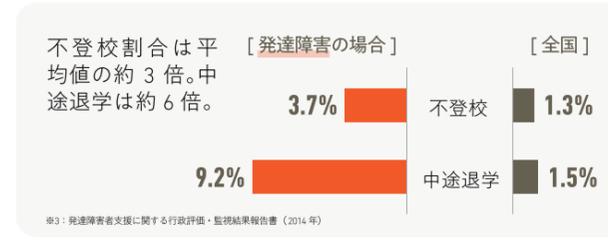


障害名	特性による困りごと	特性が活かされた場合
ASD 自閉症スペクトラム障害	<ul style="list-style-type: none"> 他人の感情を読み取るのが苦手 具体的に言われないと理解しにくい こだわりが強い 	<ul style="list-style-type: none"> 他人に左右されない 論理的 オリジナリティを発揮
ADHD 注意欠如・多動性障害	<ul style="list-style-type: none"> 自分の言動を制御しにくい 落ち着きがない ダメだとわかってもやってしまう 	<ul style="list-style-type: none"> 素早い判断ができる 高い行動力
SLD 限局性学習障害	<ul style="list-style-type: none"> 文字が読みづらい 計算が苦手 特定の学習が極端に苦手 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の勉強が必要ではない分野、例えばアートやスポーツの世界で活躍

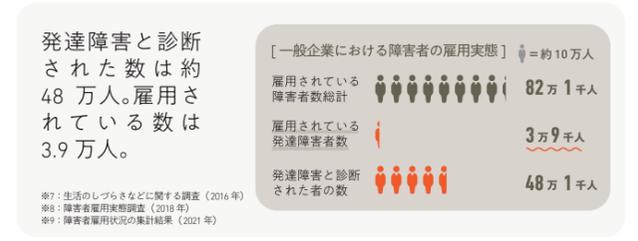
02. 発達障害当事者を取り巻く現状

Current situation

子ども



大人



03. わたしたちの事業の先にあるもの

Beyond our business

当社が目指す、発達障害のある子どもと大人、ご家族にとっての望ましい状態を最終ゴールとし、その実現のために各支援サービスを行っています。最終ゴールまでの過程で、それらがどのようにつながり、影響していくかを測定し、定期的なモニタリングを実施します。この評価結果を支援の改善に活用することで、私たちの社会的貢献、すなわちソーシャルインパクトをより一層拡大させていきます。

1 貧困をなくそう

障害者の4人に1人が貧困

年間所得が約122万以下である「相対的貧困率」が障害者では4人に1人以上、障害のない人と比べると2倍以上の割合であり、生活保護の5人に1人が障害者であるとも言われています。^{*1}

*1: 障害のある人の地域生活実態調査の結果報告 (2016)、「障害等により手助けや見守りを要する人の貧困の実態」、2015年度被保護者調査

3 すべての人に健康と福祉を

ADHDの15.2%が物質関連障害

ADHDは、衝動的な特性を持ち依存症との合併が多いことが知られています。

“依存症になる人たちの多くは、なんらかの生きにくさを感じている中で、それを忘れられる魔法の物質や快楽としてアルコール・薬物・ギャンブルを利用することで日々を生き抜いている”^{*2}

*2: 依存症対策全国センター

4 質の高い教育をみんなに

引きこもりの64%が発達障害など

東京都調査によると、相談実績がある195か所においては、発達障害や精神疾患を有する又はその疑いのある方が一定程度いることがわかりました。^{*3}

*3: 東京都引きこもりに関する支援状況等調査結果 (令和3年4月)

04. 当社のソーシャルインパクト

Social impact we bring

当社が提供する支援サービスをご利用いただくことで得られる、発達障害のある子どもと大人、およびそのご家族にとっての望ましい変化を把握するため、下記の項目を可視化し、持続的な改善に努めてまいります。

	目標	指標 (KPI)	結果	前年	差異
子ども	★ 子どもの自己肯定感が向上する	他者比較で自己の価値を測る2つの設問にてポジティブな回答の割合	59.5%	66.8%	-7.3%
	★ 子どものコミュニケーション力が向上する	コミュニケーションに関する4つの設問にてポジティブな回答の割合	84.5%	86.2%	-1.7%
	★ 子どもの成長を実感できる	「利用により成長を感じられた」と回答した割合	95.6%	95.6%	0%
	★ 育児における精神的負担が減る	「利用により精神的負担が減った」と回答した割合	92.4%	89.8%	+2.6%
	★ 子どもの特性に合った学び方や進路を見通せる	「利用により見通すことができた」と回答した割合	93.1%	68.6%	+24.5%
大人	★ セルフケアができる	「利用によりセルフケアをするようになった」と回答した割合	84.3%	81.7%	+2.6%
	★ 他者との摩擦が少なくなる	「利用により摩擦が少なくなった」と回答した割合	63.3%	49.5%	+13.8%
	★ やりたい(なりたい)ことがみつかる	「利用によりみつかった」と回答した割合	72.7%	65.1%	+7.6%
	★ 自分にあった進路や職業を選択できる	ディーキャリアの就職者数(年間)	1951人	1409人	542人
	★ 自分らしく働き続けることができる	ディーキャリア卒業者の職場定着率(就職後6カ月)	91.3%	92.2%	-0.9%
	★ 充実した余暇の過ごし方がみつかる	「利用により休日が充実するようになった」と回答した割合	59.0%	37.6%	+21.4%
	★ ストレスが軽減される	「利用によりストレスが少なくなった」と回答した割合	66.5%	56.9%	+9.6%

※ ★★ は 2023年11月末実績、それ以外は利用者へのアンケートによる。

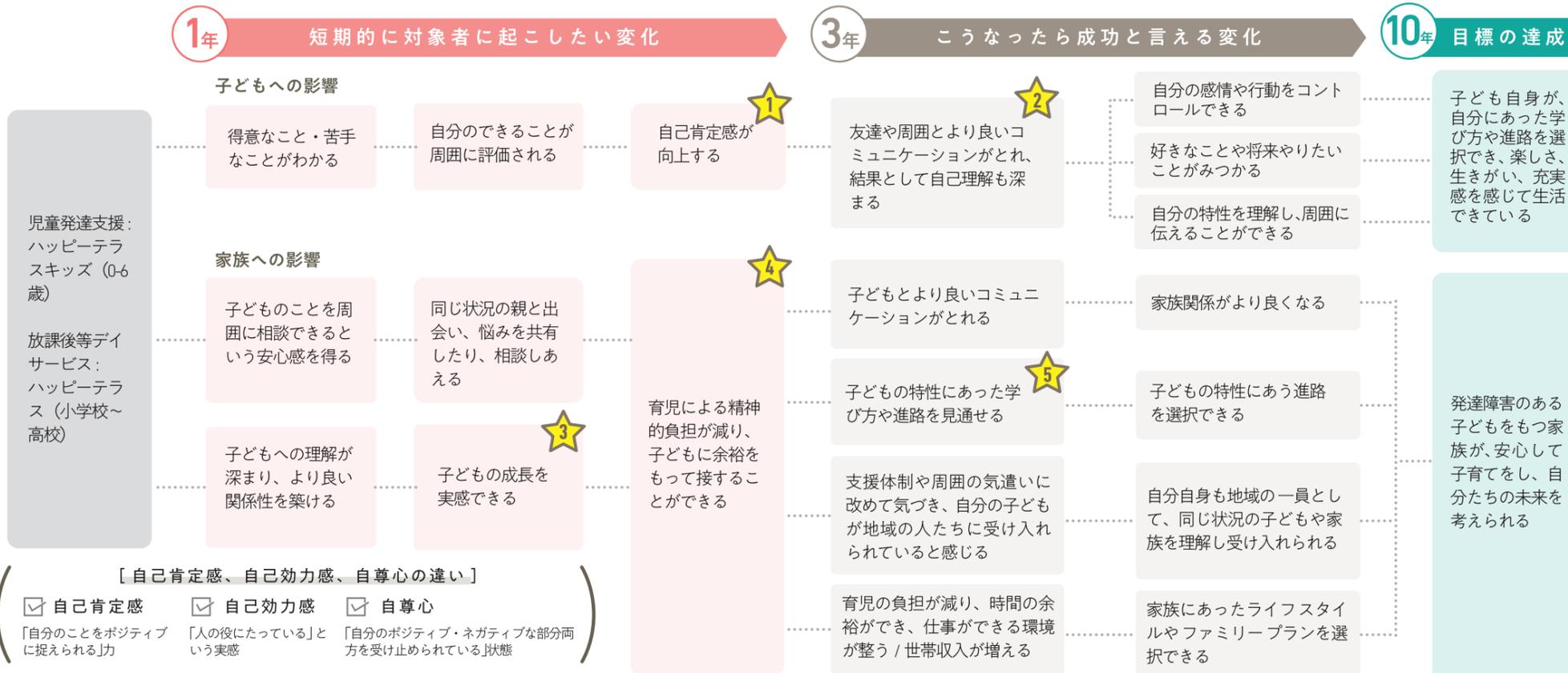
05. ソーシャルインパクトに関わる活動報告

Our activities

*「支援サービス」から「目標達成」までのつながりをロジックモデルで表しています。

成果を測る指標 [KPI] に★マークがついています

●●● 発達障害の子どもとそのご家族へのインパクト



【児童部門】2023年*の主な活動内容

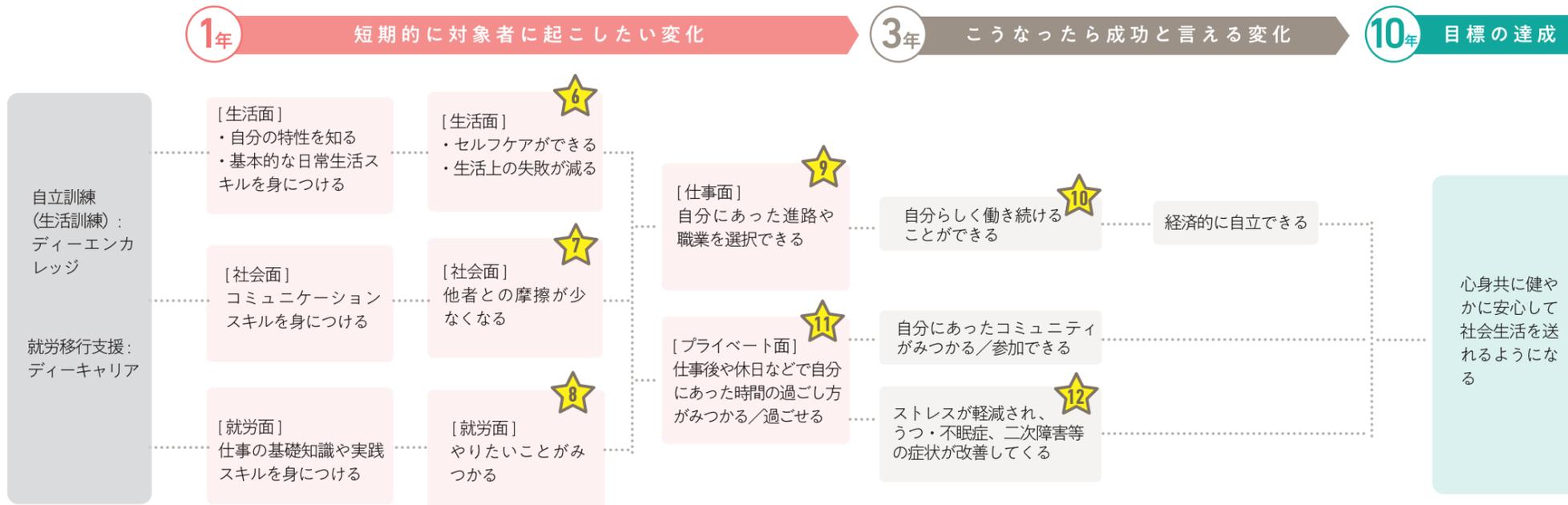
新プログラムの追加 ★1 ★5
トレーニングに入る前の準備として、「タイピング/プログラミング」を追加。教育課程で導入されたことと、それをする事で脳の活性化につながる。

療育 YouTube を開始 ★4
当社の療育ノウハウや子どもたちに接する際のポイントを、ご家庭でも活用してもらえるように、よくある事例と共に解説していくチャンネルを開始。

集中できるウエイトブランケットの開発 ★2 ★3
創業90年の育児用品メーカー ラッキーインダストリーズと協業し、常同行動による困りごとの緩和、使用者の安心感の醸成などを目指し、企画監修を行う。

*2023.1-2023.12の期間

●●● 発達障害の大人へのインパクト



【大人部門】2023年*の主な活動内容

セルフケアプログラムの刷新 ★6 ★8
障害特性を見極める特性検証をセルフマネジメントとして、テキストにまとめました。障害特性だけを見つけるのではなく、価値観や自身の強みも発見できます。

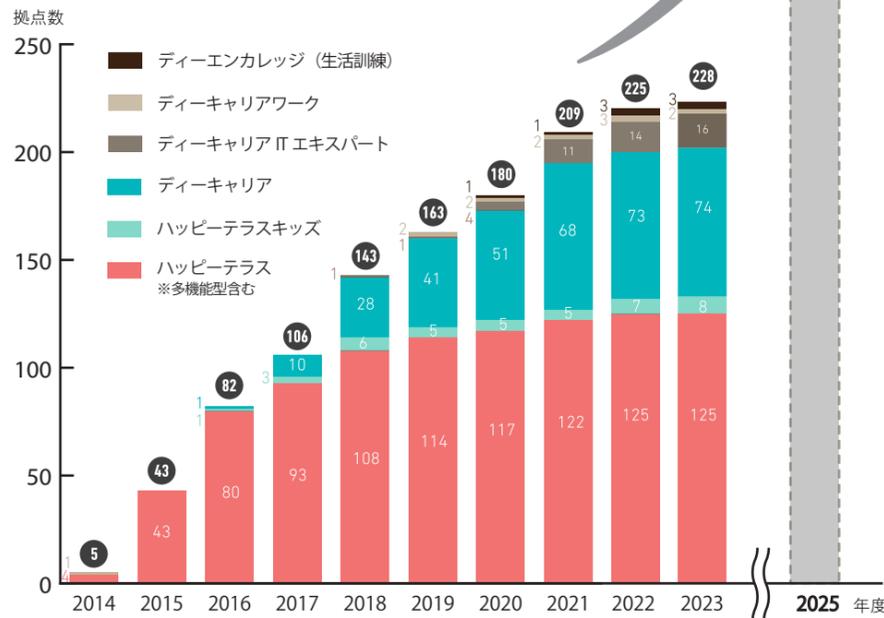
コミュニケーショントレーニング AI ロボの開発 ★7 ★12
特性によりコミュニケーションが苦手な方向けの機能や、「自己有用感」を向上させてくれる機能を盛り込んだ株式会社 MIXI の会話 AI ロボット「Romi」の企画監修を行う。

*2023.1-2023.12の期間

06. これまでの成果

Achievements

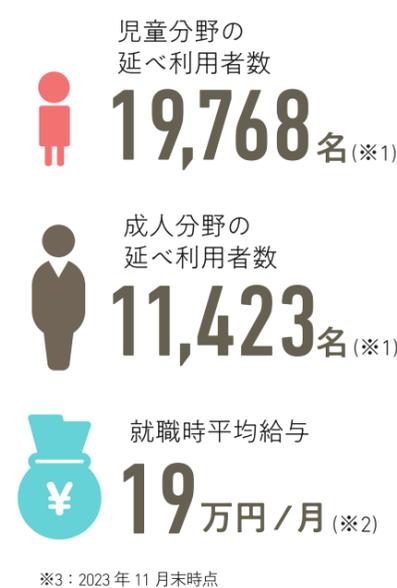
● ● ● 事業所数推移 ※2023年12月末時点



● ● ● 数値実績



※1: 2023年12月末時点
※2: 2022年度ディーキャリア実績



07. 受賞歴など

Awards



- ▶ 2018年4月 オルタナ「グリーン・オーシャン大賞」優秀賞
- ▶ 2018年11月 ビジネスチャンス「FCショー優秀賞」
- ▶ 2019年11月 子ども虐待防止「オレンジリボン運動」支援企業登録
- ▶ 2021年1月「KAICAアクション宣言」組織に認定
- ▶ 2021年2月 オルタナ「サステナブル★セレクション第3期」一ツ星に選定
- ▶ 2021年3月 第11回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞
- ▶ 2021年11月 障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度(もにす認定)を取得
- ▶ 2022年4月 EO ESG アワード最優秀賞

未就学児 (0~6歳)

小中高生 (7~18歳)

大人 (18~64歳)

児童発達支援事業

放課後等デイサービス事業

自立支援(生活訓練)事業

就労移行支援事業



8拠点



発達に気になる未就学児を対象にした療育。楽しく学べるプログラムと、子ども一人ひとりに合わせたアプローチで「自信」を持たせ「できる」を増やす支援を提供。



125拠点



小学生から高校生を対象にした療育。身体・学習・生活・社会性のスキルトレーニングと、子ども一人ひとりに合わせたアプローチで「自信」を持たせ「自立」を目指す支援を提供。



3拠点



職業生活に入る前の障害のある方を対象に、自立した日常・社会生活を営むために、自信を深め、自立力を養うカリキュラムで、「あなたらしい将来の自己決定」を目指す支援を提供。



92拠点



就職を希望する障害のある方が対象。発達障害の特性による働きづらさをフォローするプログラムと、自分の価値観や適性を見極めるカリキュラムで「やりがいを感じられる仕事探し」×「あなたらしい働き方探し」を目指す支援を提供。



障害児通所支援施設の情報ポータルサイトの運営。「さがす」をもっと快適に。」をポリシーに、障害福祉サービス利用を検討する保護者の方がお子さまにぴったりな施設を選べるサービス。



全国のノウハウが詰まった、運営支援システムを独自開発。支援の最適化から事務作業の効率化(請求含む)まで一元管理が可能。

08. 地域に広がるソーシャルフランチャイズ

Social franchise

●●● パートナーシップで広げる SDGs

17

パートナーシップで
目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちデコボコベース株式会社は、持続可能な開発目標 (SDGs) に参画・貢献しています。

▼ 社会・地域と共に

2023年12月現在で、全国228事業所を展開し、利用者数はのべ31,191名を超えます。当社では、[スピード×地域連携×地域活性]の理由により、ソーシャルフランチャイズ方式を採用しています。



スピード

▶ 全国同時多発的に課題を解決

支援や情報が行き届かない地域では、当事者やご家族は障害特性による困難からの負の連鎖を絶ち切れません。フランチャイズ方式ではスピード展開が可能で、障害による生きづらさを感じる方々に迅速に支援を届けることができます。



地域連携

▶ 地域の課題は地域で解決

全国展開する1社と、地域に根差した企業100社では地域でのネットワーク数に圧倒的な差があります。私たちは地域から愛される企業様とパートナー契約を結び、障害当事者により良い未来の選択を提示できると考えます。



地域活性

▶ 持続可能性のある福祉へ

フランチャイズ方式による当社のノウハウのシェアで、もともと福祉業界と縁のない企業様の福祉事業参画の機会を提供しています。また、地域で生まれた事業利益は地域に還元され、福祉業界全体を持続可能にしています。

●●● 民間企業・教育機関連携事例 100社以上の地元企業様とパートナー契約を結び、全国に障害福祉事業を展開。

神戸大学

学校機関 CASE 01.



☑ 効果検証へ協力 ☑ 不安の強い子どもたちを支援

神戸大学人間発達環境学術研究科とPEACEプログラム(不安の強い子どもたちに不安への対処法を身に付けてもらうプログラム)の効果を検証する共同研究を実施。効果検証の一環として当社放課後等デイサービスの利用者様へ提供し調査を実施。

ルネサンス高校

学校機関 CASE 02.



☑ 通信制高校との協働 ☑ 学び方の選択肢の提供

通信制高等学校を運営するルネサンス高校と提携。同校は茨城・愛知・大阪に展開しており、全国から入学可能。高校への通学に不安を感じる方は、ルネサンス高校に入学し、自由な時間に学びながら、ハッピーテラスでソーシャルスキルを身につけられる。

株式会社サムシンググッド

民間企業 CASE 03.



☑ 効果検証へ協力 ☑ 不安の強い子どもたちを支援

脳と体を連携させる力の向上を目的とする体験型ゲームである「運動療育システム」の実証実験に協力。専門家の監修を受け、身体スキル向上の実証実験段階から参加。教育ツールのDXで、より効率的で質の高い教育を凸凹のある子どもたちに提供。 DX: デジタルトランスフォーメーション

Aimowl 株式会社

民間企業 CASE 04.



☑ パートナー企業 ☑ 地域連携事例

1961年に家庭散水器具及び浄水器を製造販売する会社として設立。事業が拡大し、地域に「何か恩返ししたい」と考えていた折、デコボコベースと出会い、パートナー企業として参画。現在児童から大人まで複数の業態及び事業所を運営。

●●● 執行役員メッセージ



cqo 北川 庄治
SHOJI KITAGAWA
コンテンツ開発部 部長

当社のCQO(最高品質責任者)として、一貫して「当事者の目線に立ったプログラム」、「当事者の心を守る」を信念にしてきました。人はだれしも凸凹で、世界の見え方は人によって違います。相手の目線に立つために、「柔らかい心」を持つ支援で、凸凹が活きる社会を創っていきます。



新事業開発 山内 靖之
YASUYUKI YAMAUCHI
デジタルソリューション部 部長

Webサービスの新規立ち上げとWebマーケティングの責任者をしております。Web領域はリアルな場を必要としないからこそ、日本中の障害当事者やそのご家族、支援者の皆様の困りごとを解決できる可能性があります。2023年度に仕込んだ施策を大きく開花させられるよう、邁進していきます！



直営本部 平澤 克教
KATSUNORI HIRASAWA
直営事業部 部長

直営のハッピーテラス、ディーキャリア、ディーエンカレッジの運営と新事業開発を担当しております。ソーシャルフランチャイズ推進のため、半歩先をゆく挑戦が私たちの役割です。凸凹が活きる物語を全国にお届けできるように、地域社会と連携して「福祉のみらい」を創ります。



パートナー本部 今関 史之
FUMINORI IMAZEKI
パートナーサポート部 部長

パートナー(加盟店)様の加盟から事業運営のサポートを担当しております。「凸凹が活きる社会を創る」を、より広く多くの方に実感いただけるように全国47都道府県に事業所を開所し、利用者の方々により良い支援をお届けできるようパートナー様のサポートをすることが役割となります。近い将来には全国に300事業所を開所し、「凸凹が活きる社会」を広げていきます。